



Nursing Nowキャンペーン終了にあたり

国立国際医療研究センター 国際医療協力局

人材開発部 広報情報課長 田村 豊光

2019年5月に開催された世界保健総会では、近代看護の生みの親であるFlorence Nightingaleの生誕200周年を記念し、2020年を国際看護師助産師年とする事を採択した。

これに先立ち、グローバルヘルスに取り組むイギリスの議員連盟が「トリプル・インパクト」という報告書を発刊した。この報告書は、持続可能な開発目標（SDGs）の目標3：全ての人々に健康と福祉を、目標5：ジェンダー平等、そして目標8働きがいと経済成長に対し、看護職の貢献が強く期待されると言及した。そして、Nursing Nowキャンペーンがイギリスから世界各国に拡大した。

Nursing Nowは、看護職への関心を深め、地位を向上することを目的とした世界的なキャンペーンであり、世界保健機関（WHO）と国際看護師協会（ICN）が連携し、Nursing Nowキャンペーン理事が運営することになった。Florence Nightingale生誕200年となる国際看護師助産師年とも相まって、日本を含む世界各国でNursing Nowキャンペーンが実施された。国立国際医療研究センター（NCGM）国際医療協力局は、グローバルヘルスにおいてNursing Nowキャンペーンが果たす役割の重要性を認識し、日本国内はもとより、世界各国の看護職および関係者をエンパワーメントすることを目的にNursing Nowキャンペーンに参加したので、その概要を報告する。

1. State of the World's Nursing 2020の日本語版作成

State of the World's Nursing 2020は、看護に関する初めてのグローバルレポートとして、国際看護助産年である2020年のWorld Health



Dayに発刊された。このレポートは、WHO、ICN、Nursing Nowの呼びかけによって193か国から集められた看護人材に関するデータやエビデンス、それに基づいた政策提言が提示され、看護人材確保の重要性、そのための看護教育の充実、労働市場の拡大やリーダーシップの強化、それらの実現に向けた投資を強く発信する画期的な内容である。

NCGM国際医療協力局は、このレポートを通して世界的な看護の現状と課題、政策提言などの動向を日本の看護職に広く周知することを目的に、「世界の看護2020（日本語版）」を作成し、NCGM国際医療協力局ホームページで公開した。日本語版作成の諸手続きに際しては、WHO神戸センター（WKC）と協力した。

2. WKCフォーラム「最前線を担う看護師～グローバルヘルスにおける役割と展望～」への企画・運営協力

2020年のWKCフォーラムは「看護」をテーマに開催された。NCGM国際医療協力局はWKC、兵庫

県立大学と協力し、企画・運営と実施に携わった。第1部は「グローバルヘルスと看護 - The State of World's Nursing Reportから見える日本の看護人材の現状と課題 -」と題し、筆者が座長を務めた。エリザベス・イロWHO主任看護官、高階参議院議員の講演に続いて、NCGM国際医療協力局駒形より「世界の看護2020」を紹介し、日本看護協会、聖路加国際大学および千葉大学から登壇した代表者と共に、世界と日本の看護職の役割について意見交換を行った。第2部では新型コロナウイルス感染症対応における看護の役割について、臨床、行政、教育などの様々な立場からの経験が発表された。



詳細は、日本看護協会機関紙「看護」2021年6月号に掲載しているのご参照頂きたい。

3. Nursing Nowフォーラム・イン・ジャパン

NCGM国際医療協力局は、日本看護協会が主催した標記フォーラムの分科会に、協力機関としてオンライン参加した。またコロナ禍での開催にあたり感染症予防対策を講じた。



4. Global strategic directions for strengthening nursing and midwifery 2021-2025策定へのコメント

NCGM国際医療協力局では、2021年5月のWHO総会に向け作成された「2025年までの世界の看護職の強化の方向性に関する文書」のドラフトに対するレビュー依頼を受け、内部での議論の上加筆・修正のコメントを提出した。実際に採択された文書には、我々のコメントも複数活用され、世界の看護の強化に向けた文書の精練に大きく貢献した。

5. 7か国語でのビデオメッセージ発信

NCGM国際医療協力局では、新型コロナウイルス感染症と戦う看護職をはじめとした保健医療従事者へのビデオメッセージを7種類・7か国語（日本語、英語、フランス語、ミャンマー語、ベトナム語、ラオ語、クメール語）で作成した。NCGM国際医療協力局ホームページでの公開を通して、世界の保健医療従事者を支える応援メッセージを送った。

Nursing Nowキャンペーンは、2021年6月に終了したが、この流れは看護職を含む保健医療従事者全体に拡大している。新型コロナウイルス感染症の世界的な蔓延により、何百万人もの保健医療従事者が感染症対策に貢献している事を評価し、2020年に開催された世界保健総会で2021年が世界保健医療従事者年に定められた。NCGM国際医療協力局は、世界保健医療従事者年にあたり、グローバルヘルスの観点から様々な事業を展開していく。

以上